

# 救急☆3分トレーニング

Vol. 22

救急課 高度救急研修センター



この「救急☆3分トレーニング」は、救急隊員が日ごろ疑問に思っていることや、知っているようで知らないこと、何となく他人に聞くのが恥ずかしいことなどを、分かりやすく、3分以内で解決するトレーニングです。

新しい隊員さんだけでなくベテランさんも、出動の合間にササッと御覧いただき、今後の救急活動に役立ててください。

## ★口頭指導の重要性



消防指令センター員等が、通報内容から心停止を認識し口頭指導を行うことが、近年重要視されています。京都市消防局では、効果的な口頭指導を行うため、平成25年度から定例救命講習の受講者に協力いただき、京都市市民防災センターで実施する（普通・上級）救命講習年に数回、**市民参加型の口頭指導訓練**を実施しています。

訓練では、心肺蘇生法を全く知らない受講者（通報者役）に対し想定を与え、通報を受けた別室の指令センター員が電話で口頭指導を行います。

訓練実施後、通報者役や他の受講者から口頭指導についての意見を聞き、**より分かりやすい言葉や口頭指導に不向きな言葉**などを客観的に評価してもらうことや、指令センター員が自らの指導が適切であったかどうかを評価しています。

現在使われている「口頭指導手順※」は、この訓練結果を元に作られています。そして、その効果も表れてきています。

救急隊員として、指令センター員の努力を無駄にすることがないように、救命のリレーをしっかりと繋げていきましょう！

※京都市消防局救急要請受信時における応急手当口頭指導要綱第9条の「別に定める指導手順」として定めている。

